

# 橋梁デザインに現れる地域文化

八馬 智

千葉工業大学

# 橋梁デザインに現れる地域文化



2016.10.13  
八馬 智  
千葉工業大学 工学部 デザイン科学科 准教授

オランダ在住時に  
大量の土木構造物を見て回った

そして、それらの「デザイン」のテイストが  
国や地域によって大きく異なることに気がついた

根ざしている**文化**が投影されている

そもそもインフラ施設は、  
地理・地形・気候などの  
環境条件に起因する地域特有の課題に  
個別に対応してつくられている

そこに生まれる「感動体験」や「面白さ」は  
観光行動の出発点として十分な価値がある

**圧倒的なスケール感やリアリティー**  
**機能優先のダイナミックな造形**  
**大胆さと緻密さの混在**

．．．

インフラ施設を『鑑賞』することで  
地域の成り立ちを深く知ることができる



**インフラツーリズム**

一般の方々が土木に  
着目するようになってきた

**ドボク萌え**



**ブラタモリ**



**土木展**



土木の内側からも  
多角的に位置づけていくことが不可欠

**土木コレクション HANDS+EYES**



**どぼくカフェ**



**オンライン土木博物館：ドボ博**



インフラストラクチャーは、  
文化の中で位置づけられることにより、  
はじめて技術的にも機能的にも  
完全なものとなる

『鉄道橋のデザインガイド』（鹿島出版会、2013）より  
**（たぶん）ヨルク・シュライヒの言葉**

この話を逆側から見てみよう



本日は「橋のデザイン」から  
欧州文化を切り取ってみる  
(これが「ドボクで再発見」という試み)



# FRANCE

## 第1章 | フランスのドボク

### INTRODUCTION

フランスは「文化」へのプライドが極めて高いだけでなく、近代土木技術の概念が生まれた国とも言われている。そのためか、ドボクのジャンルにおいても洗練されたかっこよさが漂っていて、それは他国の追随を許さないレベルだ。ところが全体的に見ると、個人プレーばかりが目立ってしまい、総合力ではイギリスやドイツに軍配が上がる人が多いようだ。そんなオシャレ方向に突き抜けた個性豊かなフランスドボクの数々を味わおう。

### DATA

正式名称	フランス共和国
首都	パリ
面積	551,500km <sup>2</sup>
人口	6460万人
言語	フランス語



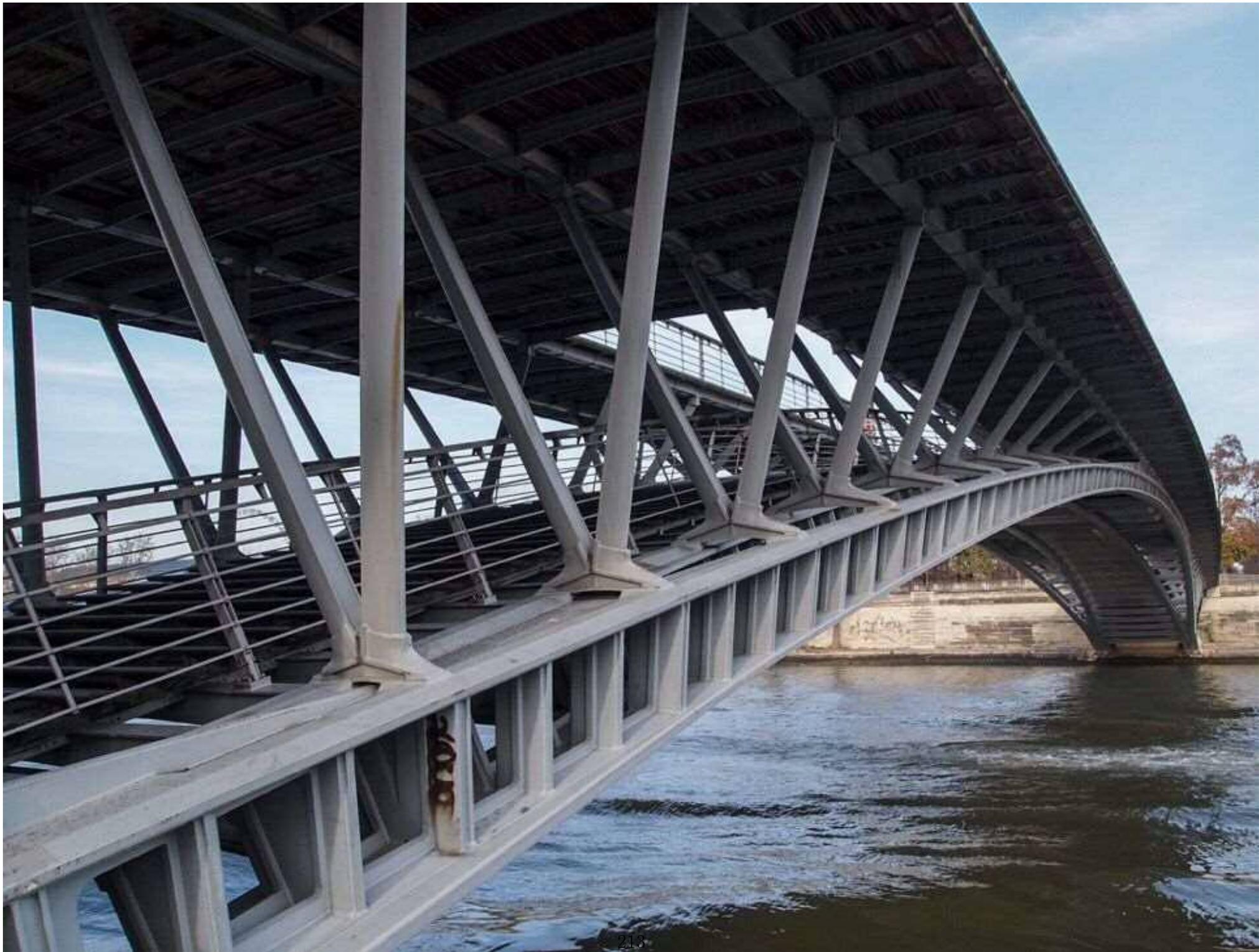
議論好きで一生涯の愛に生きるという情熱的な国民性。見知らぬ人には無愛想。ただし「ボンジュール、ムッシュ/マダム」と挨拶すれば丁寧に対応してくれる。フランス語を話しフランス文化に敬意を払えば人種を問わずフランス人として扱うという寛容な一面もある。

- 1 パリのセーヌ川に架かる橋梁群
- 2-1 ギュスターヴ・フローベール橋
- 2-2 ノルマンディー橋
- 3 ル・アーヴルの近代都市
- 4 ミヨール橋
- 5 ガラビ橋
- 6 フィルミニのユニテ・ダビタシオン



# フランスのシャレオツドボク













どうやらフランス人ってのは、  
自己愛が強いのに意外と寛容で、  
派手な方向に洗練させたがるらしい



# GERMANY

## 第2章 | ドイツのドボク

# 2

### INTRODUCTION

近代化という点ではかつてイギリスやフランスに遅れを取っていたドイツも、種々な歴史を辿りながら、いまではEUをリードする経済大国となっている。マジメにこつこつと各種のテクノロジーを積み上げてきた成果だろう。ドイツのドボクは目的に対して正面から真直にアプローチしているものが多く、壮大で新骨で驚つものになりやすい。少々堅苦しい場面があるかもしれないが、それらを全身で受け止めて、ドイツドボクを楽しもう。

### DATA

正式名称	ドイツ連邦共和国
首都	ベルリン
面積	357,137km <sup>2</sup>
人口	8278万人
言語	ドイツ語



期間やルールを遵守、難易度は高くない。団体旅行が大好きで、期間に選れた者は選んでいられる。探検好きを意味好きで、道具はどっしりとした本質のよいものも揃えていて、とっても家族思い。毎年1ヵ月夏期休暇をとる。意外アトラクションに夢中になるなど、こどもっぽい一面も。



# ドイツのかたぶつドボク













どうやらドイツ人ってのは、  
まじめで、かたくなで、  
合理性を信仰しているらしい



# THE NETHERLANDS

## 第3章 | オランダのドボク

# 2

### INTRODUCTION

オランダは九州と同じくらいの面積だけど、ほぼ全域が平地。振り所のない自由な空間が、どこまでも広がっている。そこに暮らす人々は、寛容で合理的で柔軟でケチだと言われている。実は平坦な地形と独特の国民性は密接な関係にある。オランダという国の成り立ちを知れば、そのことが強く実感できるだろう。その手がかりを求めて、オランダのドボクを送る旅に出よう。

### DATA

正式名称	オランダ王国		
首都	アムステルダム		
面積	37,359km <sup>2</sup>	人口	1680万人
言語	公用語はオランダ語、フリース語（フリースランド州） 多くのオランダ人が英語とドイツ語の両方を話す。		



国土の約40%が海抜0メートル以下。自分たちで海を深み出して干潟し国を造ったことがオランダ人の誇り。背の高さが男女とも世界一。[レンガ・ゴート・ドッチ(=盛り盛りしよう)]は言葉なオランダ人を皮肉ったことば。マリファナも安売天も売買もOKという自由な国でもある。



- 1-1 キンデルダイクの風車群
- 1-2 ヴォーターライン (Bunkar599)
- 1-3 デム
- 2 東スヘルデ防風水門(デルタパーク)
- 3 アイッセル川
- 4-1 エラスムス橋
- 4-2 ファン・ネレ工場
- 5-1 ユーロポート
- 5-2 ローゼンブルグ・ウインド・ウォール

# オランダのへんてこドボク













どうやらオランダ人ってのは、  
寛容で、おおざっぱで、  
コンセプトには素直らしい



# BELGIUM

## 第4章 | ベルギーのドボク

### INTRODUCTION

ベルギーの特性は、民族や言語が異なる北のフランダース地方と南のワロン地方に二分され、かつ、絶妙に融合していると言う点だろう。ヨーロッパの歴史としての歴史が生々しい形で残されている国なのだ。観光どころが難しいという前提で、楽しみやすいがあまり洗練されていない風景を、ニヤリとしながら体験しよう。それは最もリアリティのあるヨーロッパの姿なのかもしれない。

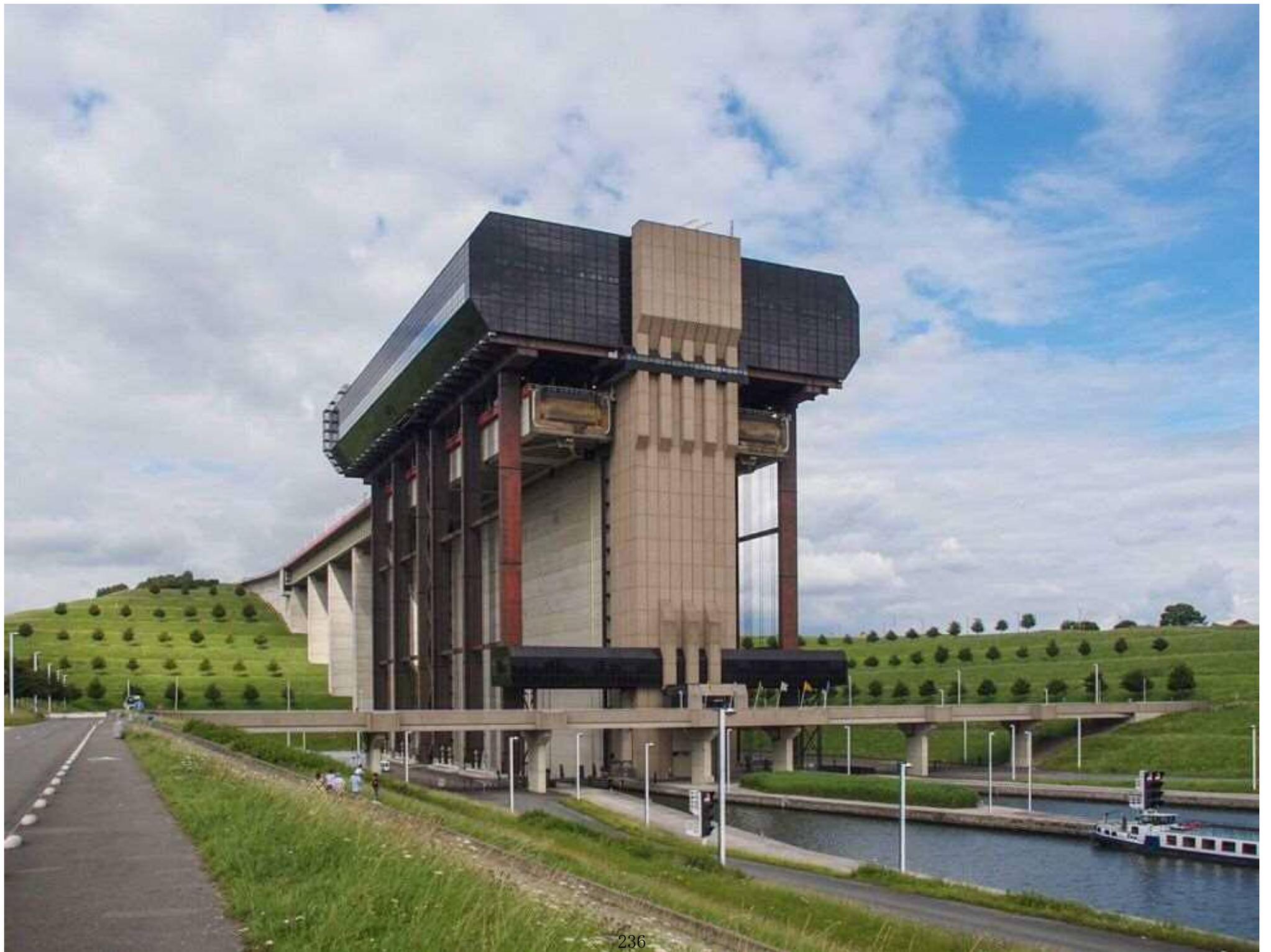
### DATA

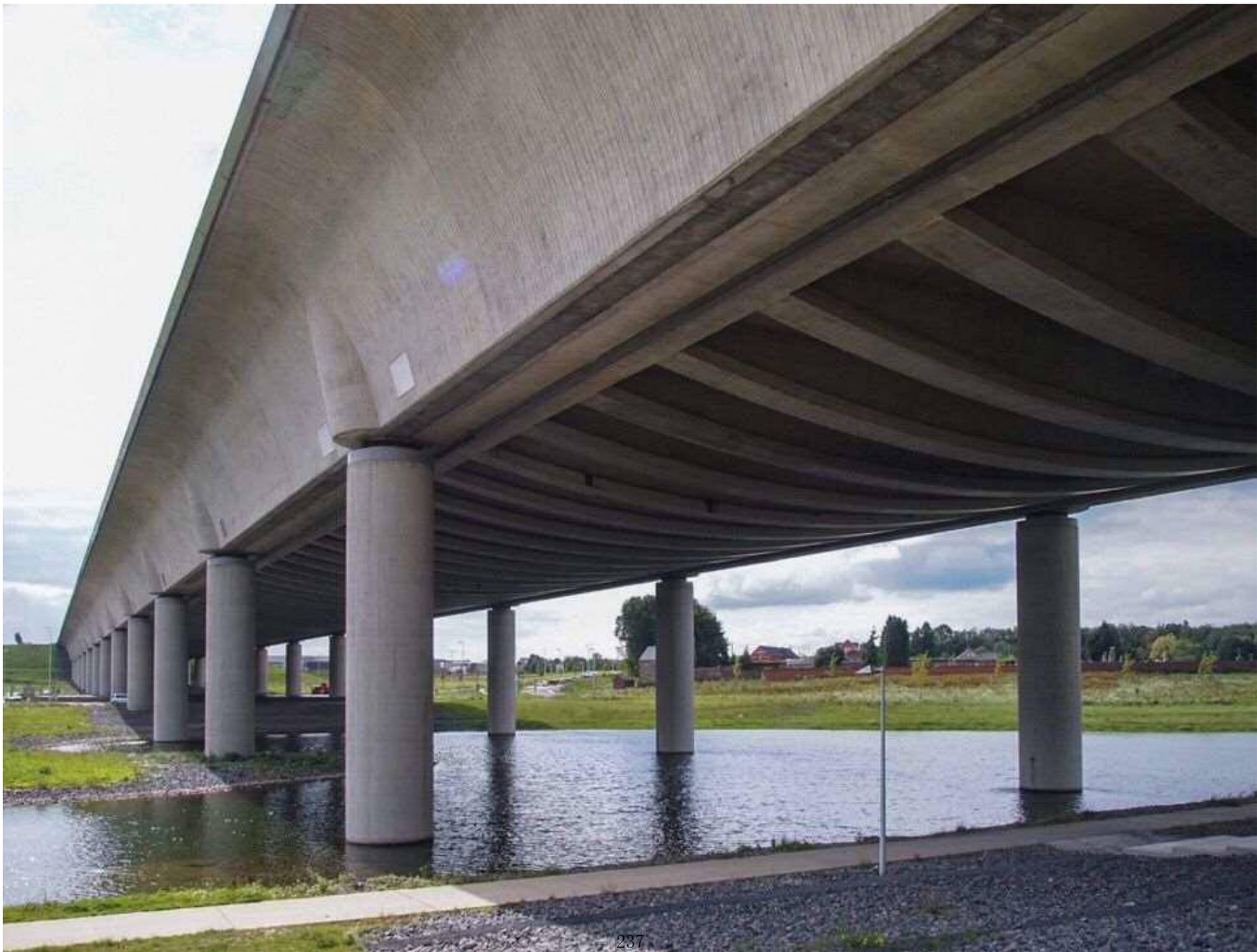
正式名称	ベルギー王国		
首都	ブリュッセル		
面積	30,528km <sup>2</sup>	人口	1118万人
言語	公用語はオランダ語（北部・フランダース地方）、フランス語（南部・ワロン地方） <small>オランダ語とフランス語は、ドイツ語と英語に次ぐ世界で最も話者が多い言語である。</small>		
備考	本国は電車で札幌よりもマイペース。海味は今や食べ者がだが人が多く、本心が読み取れないところがあるため、最も日本人に近いヨーロッパ人とも言われている。フレンチフワイは実はベルギー産で、アメリカ人の関心から生まれた。「フランダースの犬」は地域ではほとんど知られていない。		



- 1 アトミウム
- 2-1 ロンキエール・インクライン
- 2-2 ストレビ・テュー・リフト
- 3 アントワープ塔
- 4 シ・マイン
- 5 リージュ・ギユマン駅

ベルギーのダサかつこいいドボク













どうやらベルギー人ってのは、  
いいやつなのに、実直で地味なので、  
おいしい目にはありつけないらしい













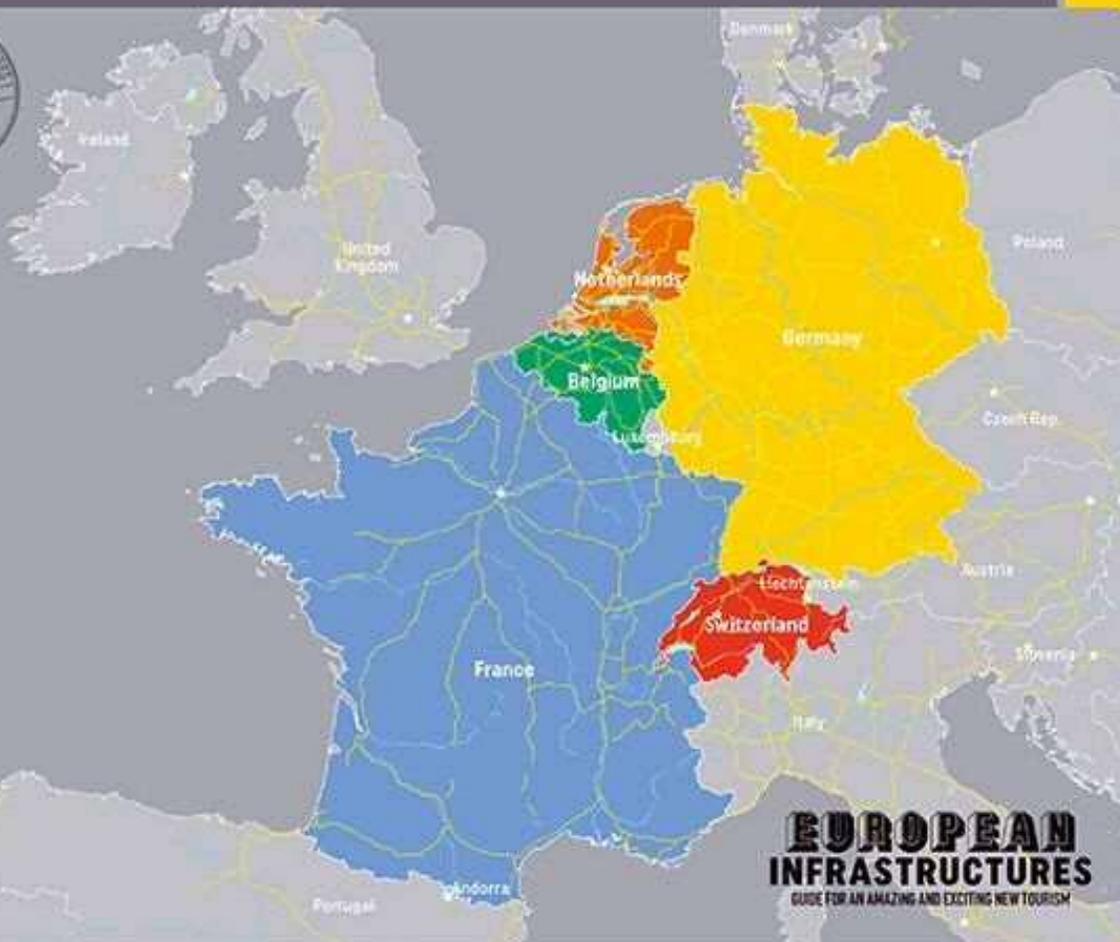


どうやらスイス人ってのは、  
まじめで、自律的で、  
抜け目ないらしい



# CONTENTS 目次

ヨーロッパのドボクを見に行こう



**1 FRANCE**  
第1章 | フランスのドボク P6

- 1-1 パリのセーヌ川に架かる橋梁群 ..... 8
- 1-2 セーヌ川河口に架かる橋 ..... 12
- 1-3 ル・アーブルの近代都市 ..... 14
- 1-4 ミヨール ..... 16
- 1-5 宮崎橋 ..... 20
- 1-6 フランスのエコノミクス・デベロップメント ..... 22

**2 GERMANY**  
第2章 | ドイツのドボク P24

- 2-1 火力発電所が天賦の地 ..... 26
- 2-2 ルーレ工業地帯の再生 ..... 30
- 2-3 フュルダース ..... 34
- 2-4 シュライヒの多層地層 ..... 36
- 2-5 ヴィトラ社工場 ..... 38
- 2-6 ヴンパータール空中鉄道 ..... 40
- 2-7 フェルクランゲン製鉄所 ..... 42

**3 THE NETHERLANDS**  
第3章 | オランダのドボク P44

- 3-1 オランダの歴史 ..... 46
- 3-2 デルフトワース ..... 48
- 3-3 アムステルダムアイランド ..... 52
- 3-4 ロッテルダム近代建築群 ..... 54
- 3-5 ユーロポート ..... 58

**4 BELGIUM**  
第4章 | ベルギーのドボク P60

- 4-1 アトニウム ..... 62
- 4-2 運河エレベーター ..... 64
- 4-3 アントワープ運 ..... 68
- 4-4 シマイン ..... 72
- 4-5 リージュ・オスマン駅 ..... 74

**5 SWITZERLAND**  
第5章 | スイスのドボク P76

- 5-1 グリムゼル湖 ..... 78
- 5-2 マイヤーの橋梁群 ..... 80
- 5-3 フォルス ..... 82
- 5-4 ゲーテアダム ..... 84
- 5-5 火力発電ダム ..... 84

**第7章 | ドボク旅行のテクニック** ..... 128

- さくいん・読者証書一覧 ..... 140

**第6章 | 欧州ドボクを満喫しよう！<モデルコース集> P90**

★コースA 西フランス周遊コース	北ヨーロッパ歴史。2千年の歴史の積み重ねに彩られる街	92
★コースB ドイツ西岸周遊コース	バウハウス・エクスカーペーターも目撃！産業遺産や鉄道にも大冒険の旅	98
★コースC ドイツ中部・スイス東部周遊コース	オランダ建築・中世橋を鑑賞して長閑な森も楽しむ	104
★コースD オランダ・ベルギー周遊コース	巨大水門に運河エレベーター。大昔の地味との付き合いが色に活かされる旅	110
★コースE スイス周遊コース	アルプスの大自然に遊び立つパワフルな冒険の旅	116
★コースF オランダ・スイス・ドイツ周遊コース	名所のグッテンベルク・グッテンブルクを全身で受け止める旅	122

フランス：**シャレオツ**ドボク  
 ドイツ：**かたぶつ**ドボク  
 オランダ：**へんてこ**ドボク  
 ベルギー：**ダサかっこいい**ドボク  
 スイス：**したたか**ドボク

**欧州**  
ヨーロッパの  
**ドボク**  
を見に行こう  
ヨーロッパ 八馬智

【特別寄贈】  
大山巖  
佐藤淳一  
石井雄  
萩原雅紀

ダム、橋、建築、港湾施設、産業遺産  
運河エレベーターから変態ホテルまで…  
**驚愕必至!**  
日本では有り得ないデザインとアーキテクチャー  
面白さが増幅するポイント解説+ドボク旅行のテクニック+モデルコースつき

八馬智

インフラストラクチャーは、  
文化の中で位置づけられることにより、  
はじめて技術的にも機能的にも  
完全なものとなる

『鉄道橋のデザインガイド』（鹿島出版会、2013）より  
**（たぶん）ヨルク・シュライヒの言葉**

日本はどうですか